

○科学的な認識の定着を図り、科学的な見方や考え方を養う。

○理科を学ぶことの意義や有用性を実感する機会をもたせ、実社会・実生活との関連を重視する内容を充実する。

月	領域(系統)	時数	学習内容	観点別評価規準と評価方法(割合は1:1:1)			
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	知識・技能	
4月	【物質】	15	さまざまな化学変化	物質を加熱したときの変化を予想しようとする。	酸化を原子・分子のモデルと関連させながら化学反応式で表すことができる。	鉄と硫黄の化合物の実験を安全に行い、生成した物質を調べることができる。	化合物と分解を中心とし、化学変化について原子レベルで説明している。
5・6月	【物質】	14	化学変化と物質、質量の規則性	開放系の実験結果をふまえて、閉鎖系の質量変化について興味を示し、考えようとしている。	実験結果を分析し、化学変化における物質の質量が比例することを、理由をつけて説明できる。	化学変化に関係する物質の質量を、誤差も考慮して注意深く測定できる。	質量保存の法則について理解しており、具体例をあげて説明している。
6・7月	【生命】	11	生物の体をつくる細胞	積極的に細胞の観察に取り組み、それぞれの細胞の特徴や共通点を見いだそうとする。	観察したいろいろな細胞の特徴をもとに、細胞の基本的なつくりを一般化することができる。	最適な細胞像を顕微鏡の視野に出し、正確にスケッチすることができる。	植物と動物の細胞のつくりの共通点と相違点を理解し、説明することができる。
1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				・授業観察 ・ノート、ワーク等提出物 ・定期考査	・授業観察 ・言語活動(記述内容含む) ・定期考査	・授業観察 ・小テスト ・定期考査	・授業観察 ・実験操作観察 ・定期考査
7・9・10月	【生命】	12	植物の体のつくりとはたらき	葉脈の違いなどに興味を持ち、その特徴について考えを發表しようとする。	根が枝分かかれし、さらに根毛が無数にあることの利点を指摘することができる。	対照実験の結果を整理して、光合成行われるための条件を説明することができる。	根や茎の切片を作り、それらのつくりを観察することができる。
10月	【生命】	12	動物の体のつくりとはたらき	栄養分の消化のしくみや、そのゆくえに関心をもち、調べようとする。	ヒトの反応時間などを調べる実験結果から、感覚器官が刺激を受け取って反応が起こるまでの経過について	ヒトの反応時間を調べる実験を行い、その結果をわかりやすくまとめることができる。	ヒトのおもな感覚器官をあげ、そのつくりと受け入れた刺激を脳に伝えるしくみを説明できる。
11月	【地球】	11	空気中の水の変化	水蒸気を含んだ空気から水滴が現れる身近な事象を進んで見いだそうとする。	霧が発生する条件を見いだし、霧のでき方を考えることができる。	露点を正しく測定することができる。	湿度の意味を理解し、知識を身につけている。
12月	【地球】	9	大気の動きと天気の変化	日々の気象要素の変化に関心をもち、意欲的に気象観測をしようとする。	大気の動きを立体的に捉え、天気との関係を考えることができる。	天気図から天気や風向・風力を読み取ったり、雲画像から雲の分布の特徴を読み取ることができる。	寒冷前線や温暖前線の通過に伴う天気の変化を理解し、知識を身につけている。
2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				・授業観察 ・ノート、ワーク等提出物 ・定期考査	・授業観察 ・言語活動(記述内容含む) ・定期考査	・授業観察 ・小テスト ・定期考査	・授業観察 ・実験操作観察 ・定期考査

12.1月	【地球】	10	大気の動きと日本の四季	日本付近の大気の動きや地球規模の大気の動きに関心をもち、進んで調べようとする。	地面と海面のあたためり方の違いをもとに、風がふく向きを説明することができる。	日本の天気図の特徴から四季を特定することができる。	日本付近の大気の動きを地球規模の大気の動きの中で捉え、地球規模の大気の動きの原因を理解している。
1月	【エネルギー】	12	電流の性質	電圧と電流との関係を予想し、進んで発表しようとする。	実験の結果から、電流の向きと回路の違いを指摘することができる。	電流計、電圧計を正しく使い、電流と電圧を測定することができる。	直列回路と並列回路での電流の規則性を理解し、知識を身につけている。
2・3月	【エネルギー】	12	電流の正体	日常生活で見られる静電気による現象に興味をもち、具体例を指摘しようとする。	実験結果から、電流の進む向きや電気の種類を見いだすことができる。	静電気を発生させ、はたらく力の規則性を調べる実験を行うことができる。	電流の正体が何であることを理解し、知識を身につけている。
3月	【エネルギー】	10	電流と磁界	磁石による現象に興味をもち、進んで調べようとする。	実験の結果から、電流と磁界によって発生する力の規則性を見いだすことができる。	電流がつくる磁界を調べる実験を行うことができる。	電磁誘導のしくみを理解し、知識を身につけている。
通年	【復習】	12	1, 2年生の復習 問題演習				
3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ノート、ワーク等提出物 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・言語活動(記述内容含む) ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシート等提出物 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・実験操作観察 ・定期考査